

# 平成30年度 第28回 中山道少年軟式野球交流大会実施要領 ～ 新6年生大会 ～

## ◆参加チーム

参加チーム13チーム

参加チーム名はトーナメント表参照

## ◆クラス

- ・小学新6年生以下（現5年生：必ず新6年生が含まれること）のチーム。
- ・原則として、単独チームであること。

選手数不足による場合のみ、事前に大会事務局の承認を得て合同チームの参加を認める。

## ◆試合方法

- ・トーナメント方式とする。
- ・試合は、自主対戦方式（練習試合同様、互いのチームが連絡を取り合い、日時・会場を決めて実施）とする。

ただし、表彰式を伴う試合（決勝戦等）は、事務局が日時・会場等を調整し、当該チームへ通知する。

## ◆大会期間

平成31年1月26日（土）～3月24日（日）の期間とする（最長期間、この間に終了）。

※各試合はトーナメント表に右部記載の「実施目標日」を目標に実施する。

## ◆会場

- ・参加チームが確保しているグラウンドを使用する。

また、大会期間中に事務局が用意したグラウンドを使用することができる。

## ◆抽選会、開会宣言、閉会式等

- ・抽選会は、参加チームの中から代表チームにより厳正に行い、抽選結果を参加チームへ通知する。

※板橋区内チーム以外は、同一市区町村のチームが一回戦で対戦しないよう工夫する。

- ・開会式は実施せず、最も早く実施される試合の開始に合わせて開会宣言を行う。
- ・決勝戦終了後、表彰式及び閉会式を行う。

## ◆大会参加費等

1チーム：5,000円

※各賞、会場、大会運営事務等に支出。

※参加費は、一回戦実施または2月3日（日）のいずれか早い日までに納付。

#### ◆表彰

##### 《団体表彰》

優勝チーム : 優勝旗（若鷹旗）、優勝カップ（中山道杯）、優勝盾、賞状

※優勝旗は複数の交流大会持ち回り、優勝カップは中山道杯（複数クラス等）持ち回りです。

準優勝チーム : 準優勝盾、賞状

第三位チーム（2チーム） : 賞状

特別賞チーム : 特別賞盾、賞状

特別戦第二位 : 賞状

##### 《個人表彰》

本戦準決勝以上及び特別戦決勝を対象に以下の個人賞を授与

最優秀賞 : メダル（優勝チームから選出：1名）

優秀賞 : メダル（準優勝、第三位、特別賞及び特別戦第二位チームから選出：各1名）

ホームラン賞 : 賞状（主審がホームランと認定した場合に限る、後日郵送）

※事務局は上記以外の特別賞等を授与することができる。

《参考》 第23回大会より、正式に「敢闘賞を廃止」し、「優秀選手賞」に統一している。

#### ◆連絡方法

大会の連絡及びチーム間の試合日程の調整等は、原則として電子メール及び携帯電話を使用するため、電子メールアドレス及び携帯電話番号を参加チームで情報共有する。

情報共有された電子メールアドレス等は、大会の運営及び参加チーム間の交流以外に使用されないよう取扱いに十分注意すること。

事務局からの連絡メールは、原則としてパソコンメールアドレスから送信されますので、各チームの連絡責任者は、スマホ等の受信端末で事務局PCアドレス等からのメールが受信できるように【必ず受信設定】しておくこと。

#### ◆大会の進め方

- ①抽選終了後、事務局は各チーム連絡先へトーナメント表（確定版）を送付する。
- ②各チーム連絡者は、トーナメント表の対戦相手へ連絡し試合日程・会場を連絡し決定する（雨の場合等に備えて予備日程も打ち合わせする）。
- ③試合日時・会場を事務局（文末の連絡先）へ電子メールで連絡する。
- ④事務局はトーナメント表へ試合予定を反映させる。
- ⑤試合を実施する（ベース、ラインカー等の試合用具は両チーム協力して準備する）。
- ⑥勝利チームは、試合結果を「試合結果記録票」へ記載し、電子メールで送付する。
- ⑦事務局はトーナメント表へ試合結果を反映させる。
- ⑧本戦の準決勝戦・決勝戦及び特別戦の決勝戦は表彰を伴うので可能な限り事務局が立ち会える日程で調整する（本戦決勝戦は必須）。

◆大会ルール（ローカルルール関係）

①試合時間

80分5回戦

※審判団は時間管理をお願いします。

※原則として、いわゆる「勝ち逃げ」は適用しませんが、そのためには試合会場の使用時間も考慮しなければなりませんので、時間に余裕がない場合は、両チーム協議の上、試合時間等の調整をお願いします。

②延長戦

特別延長戦（0アウト満塁、継続打順）を原則として1回行い、それでも決着がつかない場合は、最終回の選手9人によるジャンケン等で決する（決勝戦は特別延長戦2回を上限に実施）。

③コールドゲーム等

- ・コールドゲームは、3回10点、4回7点とする。
- ・雨天等の場合、3回を終了した場合、試合は成立したものとする。

④審判

- ・原則としてセルフジャッジによるチーム審判制（両チーム2名づつ、原則4審制）
- ・主審は審判団の互選による。
- ・必要に応じ事務局及び参加チームからの審判派遣を行う（事務局から派遣依頼があった場合はご協力をお願いいたします。）。

⑤グラウンドルール

- ・塁間は23m、投本間は16mとする。
- ・試合開始前に審判団及び両チーム監督は試合会場のグラウンドルールを確認する。

⑥特別ルール

- ・選手に代わってユニホームを着用した監督・コーチ（30、29、28に限る）によるランナーコーチを認める。
- ・ベンチに入るコーチ、マネージャー等の人数に制限を設けない。
- ・交流大会の趣旨を理解し、相手チームのファインプレーも称える等交流試合に相応しい試合を行う。

⑦他大会等の調整ルール

- ・各チームの所属連盟（所属市区町村内に限る）の公式戦を優先すること。
- ・上部大会出場により本大会の試合日程の調整に影響が生じる場合は、事情の如何に関わらず不戦敗とする。
- ・練習試合等を理由に本大会の試合日程の調整に影響が生じる場合は、事情の如何に関わらず不戦敗とする。

⑦使用球種

- ・ J 球（試合毎に 1 チーム 2 球用意、練習試合と同様）

【重要】本大会の運営原則

- ・ 本大会の運営は、役員会の下、構成員の無償の協力によって運営する。
- ・ 大会ルールは、公認野球規則を原則とし、ローカルルールを優先する。
- ・ 参加チーム及び審判は、雷等に十分注意して、安全に試合運営すること。
- ・ 参加チーム及び審判は、冬期の寒さ対策に十分配慮する（ランナーコーチ及び投手ランナーのグラウンドコート着用等）。
- ・ 参加チームは保険加入することとし、大会中の怪我及び事故等について、主催者（大会）は、一切の責任を負わない。

【氏名写真等】

- ・ 選手及び指導者等（チーム代表、監督、コーチ等のチーム関係者）の氏名、写真（肖像）等の大会実行委員会、参加チームでの共有及びホームページ等での公開に承諾頂けない場合は、本大会を通しての最初の試合（開幕）までに必ず書面で事務局まで申し出ること。  
本申し出がない場合は、承諾頂いたものとして取り扱う。

以上、

ご理解ご協力をお願いいたします。

《連絡先：試合予定・試合結果送付先》

中山道少年軟式野球交流大会

事務局：田上

携帯：09022272148

携帯 g メール：juniorhawks.tokyo@gmail.com

事務局 PC メール：juniorhawks@arrow.ocn.ne.jp